普及活動情勢報告（令和８年 10 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

環境データに基づく大葉斑点病対策（その後）　～大葉部会巡回指導～

除湿による斑点病対策の効果を生産者に説明

９月から 10 月、ＪＡ高知県香美地区大葉部会の６戸を対象に、斑点病対策の巡回指導を行いました。

農業改良普及課は、斑点病の発生予測アプリによる濡れ時間の確認や農薬の予防散布、夜間の加温やヒートポンプでの除湿を提案しました。

前年病害で収穫を断念した農家では、７月からの加温除湿により被害を抑制でき、11 月下旬まで収穫できる見通しです。「経営的にも助かった」との評価を得たほか、他農家でもヒートポンプの導入による斑点病対策への前向きな動きが見られました。

農業改良普及課は、今後もデータに基づく大葉の安定生産を支援します。

よさこい高知文化祭伝承料理講座 in 奥ものべを楽しむ会

土佐の伝承人に田舎すしの作り方を習う様子

10 月４日、香美市物部町でよさこい高知文化祭伝承料理講座が開催され、参加者 15 名が３班に分かれて「田舎寿司」と「けんかもち(サツマイモと里芋を蒸してこね合わせて団子状にしたもの）」の２種類の郷土料理を作りました。

農業改良普及課は、料理の内容やレシピの聞き取り、実施計画書の作成を行い、円滑な講習会の開催を支援しました。

参加者からは「地域の伝統文化、料理を受け継ぐことは、大切だと思った」「本当に伝承していただいた気持ちがした」等の意見がありました。

農業改良普及課は、今後も伝承人の活動を支援します。

先進地から学ぼう　～せとか部会　愛媛視察研修～

ＪＡえひめ中央の担当者の説明を聞く生産者

10 月７日、ＪＡ高知県香美地区せとか部会は、問題となっている果実軟化症の対策を学ぶため、先進地である愛媛県へ視察研修を行い、生産者５名が参加しました。

視察では、ＪＡえひめ中央の担当者から栽培概要の説明を受けたほか、果実軟化症対策のポイントや栽培について活発な質疑が行われました。農業改良普及課は、今回聞き取った管理のポイント等を次回の現地検討会で報告する予定です。

生産者からは「視察研修を行って良かった」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も「せとか」の高品質生産に向けて支援をしていきます。

硫黄粉剤でうどんこ病対策！　～スイカ実証試験

実証ほ調査の様子

10月８日、ＪＡ高知県香美地区スイカ部会と協力し、うどんこ病対策の実証試験を開始しました。

現在、スイカのうどんこ病は農薬散布を中心に防除を行っているものの発病が多発し、品質低下を招いています。そこで対策技術を確立するため、従来の農薬散布に新たに硫黄粉剤を組み込んだ実証試験を実施しています。

実証農家からは「うどんこ病に悩まされており、被害を減らすため、できることはやっていきたい」との切実な声が聞かれ、本試験の実施につながりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して調査を行い、農家の課題解決に向けた提案を行っていきます。

注意！病気の季節がやってきた！　～ネギのさび病・べと病感染予測の周知～

チラシを掲示する様子

10月９日、南国市及び香美市の露地ネギ生産者約70名を対象に、さび病・べと病の感染リスクが高い日が発生したことを、出荷場へのチラシ掲示等により周知しました。

農業改良普及課は、露地ネギ栽培において主要な病害であるさび病・べと病の適期防除を支援するため、気象データを活用した感染予測システムを作成し、感染リスクが高い日の情報を生産者に提供しています。

生産者からは「そんな時期やね、防除せないかん」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も気象データを活用した病害予測と情報発信を継続し、生産者による適期防除を支援します。

Ｒ９園芸年度の活動がスタート！　～ピーマン部会現地検討会～

情報交換する様子

10月16日、ＪＡ高知県香美地区ピーマン部会が現地検討会を開催し、９名が参加しました。

農業改良普及課は、シシトウで実証しているＳＡＷＡＣＨＩを活用した黒枯病対策と加温開始に向けた省エネ対策について説明しました。

農家からは「黒枯病予測画面を活用している」という声が聞かれ、関心を寄せる他の農家に活用事例を紹介する姿が見られました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、収量安定につながる情報提供を行います。